

令和 2 年度

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

目 次

令和 2 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1	概要	1
2	事業活動の状況	1
3	会議に関する事項	11
4	役員等に関する事項	12
5	登記事項	13
6	常勤の役員及び職員に関する事項	13

令和 2 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1	貸借対照表	15
2	貸借対照表内訳表	16
3	正味財産増減計算書	17
4	正味財産増減計算書内訳表	18
5	財務諸表に対する注記	20
6	附属明細書	21
7	財産目録	22

令和2年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1 概要

令和2年度は、かごしま水族館の指定管理者として効率的な管理運営に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施しました。また、新たに「かごしま水族館運営計画」を策定するとともに、同計画に基づき令和3年度からの5年間のかごしま水族館指定管理者指定申請書を提出し、鹿児島市に指定されました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、全国的な流行の拡大を受けて4月11日から5月17日にかけて臨時休館を行いました。休館期間中は、展示生物の管理に加え、かねてできない水槽の整備や接遇向上研修、飛沫防止用シート設置などの感染防止対策を行い、営業再開に向けての準備を行いました。営業再開後は、マスクの着用や利用者カードの記入の案内、サーモカメラの設置等のほか、「いるかの時間」など館内イベントについては、開催中止や観覧人数制限を設けての開催とするなど、感染防止対策に万全を期した運営に努めました。

水族の展示等については、ジンベエザメの継続的な展示に努めたほか、カタクチイワシやカツオを黒潮大水槽に搬入するなど、展示の充実に取り組みました。また、ゴマフアザラシの繁殖を目的にオスの「マスオ」とメスの「ゴマリン」の2頭展示を始めました。

学習交流活動については、小中学生の親子を対象とした体験型講座「ワクワクきびなご塾」を中止としたほか、未就学児の親子を対象とした「いおの日」については、当初の体験イベントから工作キット配布へ変更し実施しました。また、水族館スクールについては、参加人数を削減して実施しました。

広報宣伝活動については、テレビCMの放映、県内外の学校等への訪問誘致活動などを全て中止としましたが、休館期間中に水族館や生きものの様子をご自宅等で楽しんでいただける「おうちで水族館」など新たな動画配信を行いました。また、鹿児島在住のインフルエンサーと連携し、かごしま水族館の魅力をSNSにより情報発信しました。

令和2年度の入館者数は287,074人、1日平均は889人、有料入館者数は210,278人、入館料収納額は222,392,755円となりました。(P7 別表1)

収益事業につきましては、自主事業や広報宣伝事業の財源確保のため、水族館関連商品を販売するアミューズメントショップや自動販売機などの運営を行いましたが、売上等は大幅な減額となりました。

このほか、鹿児島市認定の環境管理事業所として、引き続きエネルギーの消費削減等に努めました。

2 事業活動の状況

(1) 公益事業

鹿児島市との協定に基づきかごしま水族館の管理運営等を行うとともに、水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与するため自主事業と受託事業を行いました。

1) 自主事業

① 水族館スクールの開催

水族に関する知識の普及や啓発を目的に水族館スクールを実施いたしました。

	実施日	タイトル	参加人数	合計
第1回	4月19日	大人のための体験飼育係	中止	57人
第2回	6月28日	体験！一日飼育係	中止	
第3回	10月25日	体験！一日飼育係	16人	
第4回	11月23日	体験！一日飼育係	16人	
第5回	12月13日	大人のための体験飼育係	11人	
第6回	1月26日	体験！一日飼育体験	14人	

- ② ニュースレター「さくらじまの海」の発行
 展示生物の紹介やかごしま水族館のイベント・トピックス等を紹介する情報誌「さくらじまの海」を4回発行し、学校・団体等に配布しました。

- ③ かごしま水族館ボランティアの運営
 新型コロナウイルス感染症対策として、来館者への案内・解説等の活動を休止し、展示生物等の知識を深めることを目的とする自主研修を実施しました。
 また、新規ボランティアの募集は行わず、コロナ禍での安全で有用なボランティア活動について、アンケートを実施して意見の集約を行いました。

ボランティア（平成10年から）	人数
第1期生～第22期生（令和3年3月末現在）	104人

- ④ 水族の保護及び保存に関する調査研究活動
 錦江湾内で鯨類調査を8回実施しました。

調査日	ミナミハンドウイルカ	調査海域
8月4日	1群30頭	湾奥
10月1日	1群5頭	湾奥
10月6日	2群34頭	全域
11月13日	1群20頭	湾奥
12月3日	3群28頭	湾奥
1月13日	1群25頭	湾奥
2月7日	1群30頭	湾奥
3月11日	2群26頭	湾奥

2) 受託事業

- ① 敷地、建築物及び附属設備等の維持管理

建物等の清掃、警備及び維持管理、諸設備の運転管理や保守を行うとともに、入退管理システムの更新等を行いました。鹿児島市の「公共建築物ストックマネジメント事業」に基づき、熱源ポンプ整備を行うなど、計画的な建築物等の維持保全に努めました。

- ② 水族の収集、飼育及び展示

ア. 黒潮大水槽の展示

ジンベエザメの継続的な展示に努めたほか、カタクチイワシ5万尾、カツオ166尾、キハダ64尾を搬入するなど、展示の充実に努めました。また、トンガリサカタザメとして20年以上飼育していたエイが、大学等との共同研究で新種であることが確認され、モノノケトンガリサカタザメとして論文発表を行いました。

イ. 4階かごしまの海のコーナーの展示更新

臨時休館中にアマモ水槽等の整備を行ったほか、常設展示パネルを更新し、錦江湾の地形や海流など、鹿児島県本土の自然環境をより分かりやすく解説する内容に変更しました。

ウ. イルカ展示及び繁殖に向けての取組

「いるかの時間」や「青空イルカウォッチング」のプログラムを更新するなど、イルカ展示の充実に取り組みました。また、人工授精によるイルカの繁殖を目指し、他園館と協力して技術開発に取り組みました。

エ. ゴマフアザラシの繁殖に向けての取組

令和2年3月に当館に搬入したオスの「マスオ」が、環境に慣れたことから、8月19日に一般公開し、繁殖を目指すために10月1日からメスの「ゴマリン」との展示を開始しました。

オ. 新規の館内展示水族

主な新規展示水族

展示開始日	生物名	展示開始日	生物名
8月12日	タネガシマミドリイシ	12月4日	ハワイセンベイサンゴ
12月24日	ハナビラウツボ	12月24日	ハワイウツボ
12月24日	ゼブラウツボ	12月24日	アミキカイウツボ
12月24日	クモウツボ	12月24日	モヨウタケウツボ
12月27日	ヒメセンジュエビ	12月31日	ベニツケダコ

③ 特別企画展の開催

常設展示とは異なったテーマで様々なアイデアや趣向を凝らし、ポピュラーな話題から専門的なものまで深く掘りさげて情報提供するとともに、リピーターの方々にも楽しんでいただけるように、特別企画展を実施いたしました。「ウツボのうーぼん なかまさがし」では、生きものの展示に加え、担当職員が制作した絵本を市内の幼稚園・保育園や児童施設等へ配布し、アミューズメントショップでも販売しました。

特別企画展

開催期間	タイトル
3月20日～ 8月31日	海の生きものの共生・寄生展 ～一緒にいるのはワケがある～
12月24日～ 4月11日	ウツボのうーぼん なかまさがし

④ 体験型講座の実施

薩摩伝統の郷中教育の要素を取り入れた体験型連続講座「いおっ子海っ子体験塾」や、学校及び団体向けのプログラム「いおワールド生きもの講座」、職場体験や学芸員等実習の受け入れを行いました。また、体験型講座「ワクワクきびなご塾」など一部については、今年度は実施を見合わせ、実施した講座等についても参加人数を減らすなど感染予防対策を行いました。

	タイトル	実施回数	参加人数
1	いおっ子海っ子体験塾	5回	72人
2	ワクワクきびなご塾	—	全講座中止
3	いおワールド生きもの講座	103回	5, 253人
4	職場体験学習	10回	16人
5	学芸員等実習	6回	6人
合 計		124回	5, 347人

⑤ 各種イベントの実施

定例の館内イベントのほか、次の特別イベントを実施いたしました。

	イベント名（回数等）	内 容
1	いおの日（9回）	今年度予定していたイベントは全て中止し、海の生きものにちなんだ工作キットを配布しました。
2	夜の水族館（17回）	夏休みの土、日曜日、祝日とお盆期間、に開館時間を21時まで延長しました。
3	黒潮大水槽バックヤード一般公開（23回）	普段見ることができない黒潮大水槽の裏側を公開しました。
4	トワイライトアクアリウム（17回）	水槽照明を変更して、夜の魚たちの様子を観察できるようにするほか、館内のBGMの変更や館外にイルミネーションを設置し、普段とは違う雰囲気演出する「夜の水族館」限定のイベントを行いました。
5	星に願いを！ ～水族館で七夕飾り～	7月1日～8月7日の期間で来館者に短冊に願い事を書いていただき、9月13日に願い事をかなえるイベントを行いました。
6	プラネタリウム in 水族館	9月12日に、水槽の前でプラネタリウムを上映し、魚と星を観察しながら、魚や海に関する星座やサンゴ礁と月の関係など解説するイベントを行いました。
7	フォトコンテスト	水族館の生きものを対象にしたフォトコンテストを実施しました。応募数221作品 優秀作品32作品 展示期間12月5日～1月31日
8	ジンベエザメの食事をまちかで見よう（2回）	黒潮大水槽のバックヤードからジンベエザメの食事の様子を飼育員の解説付きで紹介するイベントを行いました。
9	ピラルクーにエサやり体験（3回）	世界最大級の淡水魚ピラルクーにエサを与えるイベントを行いました。
10	水族館で凧を作ろう！	1月2日に水族館の生きものを描いてオリジナルの凧を作るイベントを行いました。
11	アクアリウム night ヨガ（4回）	リビングかごしまと共同で、黒潮大水槽前でのヨガイベントを行いました。（女性限定）
12	紙粘土でコバンザメをつくろう（4回）	紙粘土でコバンザメを作るイベントを行いました。
13	イルカ水路のゴミ掃除&カヤック体験	ボランティア清掃を行うNPO法人「グリーンバード」と協力して、イルカ水路の清掃と水路でのカヤック体験イベントを開催しました。
14	かごしま水族館クイズラリー・冬休みスペシャルクイズラリー	館内に展示している生きものを題材にしたクイズラリーを夏休みと冬休みに実施しました。
15	読み聞かせ&コンサート	黒潮大水槽前でコントラバスとピアノの演奏に合わせた読み聞かせとコンサートを開催しました。

16	アニメ de 海と日本プロジェクト 「サンタ・カンパニー ～真夏のメ リークリスマス」 上映	海洋ごみ問題をテーマにしたアニメを上映しまし た。上映初日にはMBC南日本放送と協力してオー プニングイベントを開催しました。 上映期間 2月21日～4月5日
17	特別企画展イベント① 「うーぼんとなかまたちの キーホルダーを作ろう！」	特別企画展「ウツボのうーぼん なかまさがし」に 登場する生きもののイラストを使用したキーホルダ ーを作るイベントを開催しました。
18	特別企画展イベント② 「うーぼんを探せ！」	館内各所に隠したヒントを見つけて問題を解く謎解 きイベントを開催しました。 期間 3月26日～4月11日

※網かけは令和2年度初実施のイベント

⑥ 講演会等の開催

	開催日	講演内容
1	8月23日	海と日本PROJECT 鹿児島サメを調べる ～サメの解剖教室～ 講師：仲谷 一宏 博士（北海道大学名誉教授）
2	11月1日	日本財団 チェスト!FOR THE BLUE 海ごみナイトアクアリウムイベント「海ごみってなんだろう」 講師：藤枝 繁 博士（鹿児島大学特任教授）

⑦ 広報宣伝事業

新型コロナウイルス感染症拡大のため、例年行っている入館者増に向けたテレビCMの放映、旅行代理店・学校の訪問誘致活動や海外セールスは中止し、かごしま水族館の感染防止対策についてホームページやイベントちらしで広報しました。

また、報道機関への情報提供に努めました。

ア. 報道機関への情報提供

新たな展示水族等に関する「いおワールド情報」を報道機関へ提供し、新聞記事として掲載されたほか、テレビ等で報道されました。

イ. SNSを活用した取組

緊急事態宣言中の休館期間中に自宅でも水族館が楽しめるよう「おうちで水族館」と題して、動画の配信を行ったほか、館内からのライブ配信を実施しました。

また、かごしま水族館公式ツイッターとインスタグラムの運用を開始したほか、鹿児島在住のインフルエンサーによる情報発信強化企画や、SNSフォロワーアップキャンペーンを実施いたしました。

ウ. 貸切水族館

1日1組限定で閉館後の水族館を貸し切り、「いるかの時間」や黒潮大水槽の解説など希望に応じてプランを選び楽しんでいただく「貸切水族館」や「アクアリウムパーティー」などを実施いたしました。1組のみの利用で感染防止対策にもなることから、特に修学旅行団体に利用されました。

エ. その他

- 冬休み・春休みのイベント情報を載せた水族館イベントチラシを作成し、市内・県内の小中学校や幼稚園・保育園等に配布しました。
- 電照広告看板をJR鹿児島中央駅や桜島フェリーに引き続き設置したほか、高速道路利用者に対する広報を引き続き実施しました。また新たに桜島フェリーランプドア広告を平川動物公園と共同で開始しました。
- 年間パスポートについては、イベントチラシ等により周知を図ったほか、市営バス、鹿児島交通の水族館・動物園線のバスに平川動物公園と共同でラッピング広告を実施しました。

⑧ 職員等の採用

ア 職員

採用日	職種	採用人数
4月 1日	事務職員	1人
	技術職員（展示・飼育）	1人

イ 嘱託員

採用日	職種	採用人数
4月 1日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	7人

(2) 収益事業

入館者の利便を図るとともに、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保するためにアミューズメントショップの運営などの付帯事業を実施しました。

① アミューズメントショップ等

水族館に関連する菓子やぬいぐるみ、文具雑貨等の商品を販売するアミューズメントショップの運営を行いました。

また、仙巖園との共通チケットの販売を行いました。

令和2年度売上額

アミューズメントショップ 112,907,252円（P9 別表2）

共通チケット 1,561,000円

合 計 114,468,252円

② 自動販売機

入館者へのサービスに供するため自動販売機10台（展望ホール5台、イルカ館2台、屋外3台）の運営を行いました。

令和2年度販売手数料額 4,579,556円（P9 別表2）

③ G o T o トラベル事業への対応

10月1日からG o T o トラベル事業の「地域共通クーポン」の受入れを行いました。

令和2年度実績

受入期間：10月1日から12月28日まで

利用者数：8,730人

売 上 額：19,074,000円

3 かごしま水族館運営計画（令和3年度から令和7年度まで）の策定

基本目標「鹿児島島の海にこだわり 海を守り 地域と共にある水族館」

数値目標「入館者の満足度90%→93%（3%増）」

基本戦略1：かごしま水族館らしさの追求

重点施策① 展示の充実・新たな魅力づくり

重点施策② 学習交流活動及び水族館SDGsの推進

重点施策③ 情報発信力の強化及び受入体制の充実

基本戦略2：観光資源（施設）としての活用の推進

重点施策① 戦略的な誘致活動

重点施策② 館内外の新たな魅力づくり

重点施策③ ショップ収益力の強化

(別表 1)

入館者の種別と入館料収納額

種 別			入館者数 (人)	構成比 (%)	入館料収納額 (円)	
有 料 入 館 者	個人	大 人	100,317	34.9%	150,152,100	
		小 人	16,618	5.8%	12,383,700	
		幼 児	10,648	3.7%	3,702,230	
		敬 老	1,250	0.4%	937,500	
		観 光	13,128	4.6%	14,595,600	
		小 計	(141,961)	(49.4%)	(181,771,130)	
	団体	大 人	3,487	1.2%	4,184,400	
		小 人	5,543	1.9%	3,325,800	
		幼 児	570	0.2%	159,600	
		小 計	(9,600)	(3.3%)	(7,669,800)	
	市内学校教育等	大 人	6	0.0%	4,500	
		小 人	1,985	0.7%	744,375	
		幼 児	3,188	1.1%	557,900	
		小 計	(5,179)	(1.8%)	(1,306,775)	
	年間パスポート	大 人	10,033	3.5%	27,707,400	
		小 人	1,806	0.6%	2,465,550	
		幼 児	2,289	0.8%	1,472,100	
		小 計	(14,128)	(4.9%)	(31,645,050)	
	年間2回目以降	大 人	28,588	10.0%		
		小 人	3,928	1.4%		
		幼 児	6,894	2.4%		
		小 計	(39,410)	(13.8%)		
	有 料 合 計			210,278	73.2%	222,392,755
	無 料 入 館 者	個人	障害者手帳等	9,733	3.4%	
3 歳 以 下 等			59,568	20.8%		
視 察 そ の 他			2,243	0.8%		
小 計			(71,544)	(25.0%)		
団体		生 徒 等	1,546	0.5%		
		引 率	3,706	1.3%		
		小 計	(5,252)	(1.8%)		
無 料 合 計			76,796	26.8%		
合 計			287,074	100.0%		
令和元年度			622,877		524,220,575	
令和元年度比			△ 335,803	46.1%	△ 301,827,820	
開 館 日 数			323 日	休館日 12月 7日から12月10日まで 臨時休館 4月11日から 5月17日まで 9月 6日		
1 日 平 均 入 館 者			889 人			
1 日 最 多 入 館 者			4,166 人	9月20日 (日)		
1 日 最 小 入 館 者			66 人	4月 9日 (木)		

月別入館者の状況

(単位：人)

月	開館 日数	有 料						無料計	月計
		大人	小人	幼児	敬老	年間パス (2回目以降)	小計		
4月	10	881	200	47	4	321	1,453	360	1,813
5月	14	2,494	362	267	31	1,537	4,691	2,041	6,732
6月	30	9,296	1,232	1,300	73	3,380	15,281	6,011	21,292
7月	31	7,659	999	708	99	2,708	12,173	3,947	16,120
8月	31	17,849	4,674	1,929	205	5,793	30,450	8,747	39,197
9月	29	14,560	2,822	2,214	147	3,784	23,527	7,879	31,406
10月	31	12,613	3,643	1,839	121	3,532	21,748	8,465	30,213
11月	30	15,746	4,783	1,738	143	3,468	25,878	10,625	36,503
12月	27	10,778	2,033	1,117	78	2,992	16,998	6,922	23,920
1月	31	6,760	1,184	1,393	50	3,572	12,959	4,921	17,880
2月	28	7,972	1,336	1,515	75	3,680	14,578	5,754	20,332
3月	31	18,092	4,825	2,758	224	4,643	30,542	11,124	41,666
計	323	124,700	28,093	16,825	1,250	39,410	210,278	76,796	287,074
構成比		43.4%	9.8%	5.9%	0.4%	13.7%	(73.2%)	26.8%	100.0%

(別表2)

アミューズメントショップ・自動販売機の状況

(1) アミューズメントショップの購買者数・利用率・売上額・客単価

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買者数 (B)	利用率 (B/A)	売上額 (C)	客単価	
				(C/B)	(C/A)
287,074	78,976	27.5%	112,907,252	1,430	393

(2) 自動販売機の購買個数・利用率・手数料額

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買個数 (B)	利用率 (B/A)	手数料額 (C)
287,074	75,824	26.4%	4,579,556

(3) 月別状況

	アミューズメントショップ		自動販売機	
	売上額(円)	構成比	手数料額(円)	構成比
4月	556,681	0.5%	73,468	1.6%
5月	1,765,202	1.6%	90,057	2.0%
6月	5,762,040	5.1%	387,372	8.5%
7月	4,066,146	3.6%	292,168	6.4%
8月	11,522,932	10.2%	729,653	15.9%
9月	10,253,788	9.1%	557,268	12.2%
10月	14,169,376	12.5%	489,449	10.7%
11月	19,868,803	17.6%	498,528	10.9%
12月	14,912,389	13.2%	304,732	6.6%
1月	5,017,144	4.4%	289,151	6.3%
2月	6,436,746	5.7%	281,282	6.1%
3月	18,576,005	16.5%	586,428	12.8%
計	112,907,252	100.0%	4,579,556	100.0%
令和元年度比	△ 91,076,030	55.4%	△ 4,913,394	48.2%

来館者アンケート調査結果（概要）

(1) 来館者の地域別状況

(単位：％)

地 域		調 査 日	
		8月8日(土) ～8月10日(月)	1月30日(土) ～2月1日(月)
市 内		54.4	71.8
県 内		20.2	20.3
県 外	福 岡	7.2	0.7
	佐 賀	1.2	0.0
	長 崎	0.3	0.0
	熊 本	3.8	1.7
	大 分	0.6	0.2
	宮 崎	2.0	0.7
	中国地方	1.3	0.6
	関西地方	2.6	0.6
	関東地方	2.6	0.7
	そ の 他	3.1	2.0
小 計		24.7	7.2
海 外		0.1	0.0
無 回 答		0.6	0.7
合 計		100.0	100.0

(2) 情報手段

(単位：％)

種 別	調 査 日	
	8月8日(土) ～8月10日(月)	1月30日(土) ～2月1日(月)
テレビ報道等	7.3	5.3
新 聞	1.9	0.8
家族	27.1	26.1
友人・知人	12.3	8.6
ポスター	1.2	1.2
雑 誌	2.1	0.7
ラジオ	0.3	0.7
旅行業者	0.4	0.0
ホームページ	8.1	2.5
フェイスブック	0.7	0.0
ツイッター	0.4	0.3
インスタグラム	0.6	0.5
年間パスポートを所持	11.6	24.1
特になし（なんとなく）	19.9	23.1
その他	3.5	4.8
無回答	2.6	1.3
合 計	100.0	100.0

※ サンプル数は、

令和2年8月調査 1,710人

令和3年1月調査 541人

3 会議に関する事項

(1) 理事会

令和2年度の理事会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項等
第1回	令和2年 5月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任に係る 評議員会招集の件
第2回	令和2年 6月 17日	令和元年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び 収支決算 令和2年度第2回評議員会招集の件
第3回	令和2年 6月 17日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事長（代表理事）、 副理事長及び常務理事選定の件
第4回	令和2年 11月 6日	業務執行報告
第5回	令和2年 12月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社職員給与規程一部改正の件
第6回	令和3年 3月 15日	公益財団法人鹿児島市水族館公社職員就業規則一部改正の件 令和3年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和3年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算 令和2年度第3回評議員会招集の件

(2) 評議員会

令和2年度の評議員会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第1回	令和2年 5月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任の件
第2回	令和2年 6月 17日	令和元年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び 収支決算 公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任の件
第3回	令和3年 3月 22日	令和3年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和3年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算 公益財団法人鹿児島市水族館公社理事選任の件

4 役員等に関する事項

(1) 令和3年3月31日現在の役員は次のとおりです。

役職名	氏 名
理 事 長	森 博 幸
副理事長	松 山 芳 英
常務理事	山 口 順 一
理 事	岩 元 恭 一
理 事	犬 伏 和 章
理 事	佐 潟 隆 一
理 事	寺 菌 玲 子
理 事	中 村 耕 治
理 事	西 隆 一 郎
理 事	西 野 友 季 子
理 事	杉 元 羊 一
理 事	小 倉 洋 一
監 事	高 橋 雷 太
監 事	牧 野 謙 二

(2) 令和3年3月31日現在の評議員は次のとおりです。

役職名	氏 名
会 長	杉 木 和 子
評 議 員	岩 坪 恵 美 子
評 議 員	長 船 祐 介
評 議 員	久 保 誠
評 議 員	倉 野 満
評 議 員	坂 元 聖 子
評 議 員	圖 師 俊 彦
評 議 員	中 尾 孝
評 議 員	本 村 浩 之
評 議 員	山 本 智 子
評 議 員	大 脇 俊 朗
評 議 員	成 尾 彰

5 登記事項

令和2年度の登記事項は次のとおりです。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
令和2年 5月13日	鹿児島地方法務局	理事及び評議員の変更	令和2年 5月 1日
令和2年 6月29日	鹿児島地方法務局	理事及び評議員の変更 理事及び評議員の再任	令和2年 6月17日

6 常勤の役員及び職員に関する事項

令和3年3月31日現在の人員は次のとおりです。

常務理事	事務局長	公社職員	嘱託員	臨時職員
1人	1人	30人	27人	30人
		館長 1人	アクアレディ	事務補助 3人
		総務課 10人	券売・案内・展示解説 15人	設備管理補助 1人
		課長 1人	商品販売・管理 9人	飼育補助員 10人
		主幹 1人	事務 1人	調餌補助 4人
		管理係	飼育 2人	展示解説 12人
		係長（総務課長事務取扱）		
		主任 1人		
		事務職員 2人		
		施設係		
		係長 1人		
		主任 1人		
		技術職員 1人		
		企画営業係		
		係長（総務課主幹事務取扱）		
		事務職員 2人		
		展示課 19人		
		課長（館長事務取扱）		
		主幹 1人		
		魚類展示係		
		係長 1人		
		主任 3人		
		技術職員 5人		
		海獣展示係		
		係長（展示課主幹事務取扱）		
		主査 1人		
		主任 1人		
		技術職員 4人		
		学習交流係		
		係長 1人		
		主任 1人		
		技術職員 1人		

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成１９年法務省令第２８号）
第３４条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、
令和２年度事業報告の附属明細書については作成しておりません。

令和2年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	255,657,541	259,726,630	△ 4,069,089
未収金	2,631,730	1,250,749	1,380,981
商品	406,694	263,325	143,369
貯蔵品	1,524,306	1,327,460	196,846
流動資産合計	260,220,271	262,568,164	△ 2,347,893
2.固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	178,886,558	168,618,798	10,267,760
減価償却引当資産	8,023,464	6,002,474	2,020,990
特定費用準備資産	0	5,643,000	△ 5,643,000
特定資産合計	186,910,022	180,264,272	6,645,750
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1,465,448	0	1,465,448
什器備品	7,467,488	9,355,256	△ 1,887,768
電話加入権	226,408	226,408	0
預託金	9,550	0	9,550
その他固定資産合計	9,168,894	9,581,664	△ 412,770
固定資産合計	396,078,916	389,845,936	6,232,980
資産合計	656,299,187	652,414,100	3,885,087
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	111,650,638	91,412,843	20,237,795
預り金	4,142,419	4,236,185	△ 93,766
未払法人税等	71,000	3,311,900	△ 3,240,900
流動負債合計	115,864,057	98,960,928	16,903,129
2.固定負債			
退職給付引当金	178,886,558	168,618,798	10,267,760
固定負債合計	178,886,558	168,618,798	10,267,760
負債合計	294,750,615	267,579,726	27,170,889
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
2.一般正味財産			
剰余金	161,548,572	184,834,374	△ 23,285,802
一般正味財産合計	161,548,572	184,834,374	△ 23,285,802
正味財産合計	361,548,572	384,834,374	△ 23,285,802
負債及び正味財産合計	656,299,187	652,414,100	3,885,087

2 貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金	10,169,588	3,608,363	0		13,777,951
普通預金	108,667,936	132,260,278	951,376		241,879,590
未収金	445,581	4,817,088	0	△ 2,630,939	2,631,730
商品	0	406,694	0		406,694
貯蔵品	0	1,524,306	0		1,524,306
流動資産合計	119,283,105	142,616,729	951,376	△ 2,630,939	260,220,271
2.固定資産					
(1) 基本財産					
普通預金	200,000,000	0	0		200,000,000
基本財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当普通預金	178,778,798	107,760	0		178,886,558
減価償却引当普通預金	133,222	7,890,242	0		8,023,464
特定資産合計	178,912,020	7,998,002	0	0	186,910,022
(3) その他固定資産					
車両運搬具	1,465,448	0	0		1,465,448
什器備品	0	7,467,488	0		7,467,488
電話加入権	0	76,440	149,968		226,408
預託金	9,550	0	0		9,550
その他固定資産合計	1,474,998	7,543,928	149,968	0	9,168,894
固定資産合計	380,387,018	15,541,930	149,968	0	396,078,916
資産合計	499,670,123	158,158,659	1,101,344	△ 2,630,939	656,299,187
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	98,875,117	14,455,084	951,376	△ 2,630,939	111,650,638
預り金	4,142,419	0	0		4,142,419
未払法人税等	0	71,000	0		71,000
流動負債合計	103,017,536	14,526,084	951,376	△ 2,630,939	115,864,057
2.固定負債					
退職給付引当金	178,778,798	107,760	0		178,886,558
固定負債合計	178,778,798	107,760	0	0	178,886,558
負債合計	281,796,334	14,633,844	951,376	△ 2,630,939	294,750,615
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	200,000,000	0	0	0	200,000,000
指定正味財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
2.一般正味財産					
剰余金	17,873,789	143,524,815	149,968	0	161,548,572
一般正味財産合計	17,873,789	143,524,815	149,968	0	161,548,572
正味財産合計	217,873,789	143,524,815	149,968	0	361,548,572
負債及び正味財産合計	499,670,123	158,158,659	1,101,344	△ 2,630,939	656,299,187

3 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取補助金等	736,638,497	755,350,011	△ 18,711,514
事業収益	119,861,327	221,007,946	△ 101,146,619
受取寄付金	0	150,000	△ 150,000
雑収益	3,284,994	2,529,661	755,333
経常収益計	859,784,818	979,037,618	△ 119,252,800
(2) 経常費用			
自主事業費	1,674,300	3,759,619	△ 2,085,319
受託事業費	720,657,541	746,568,495	△ 25,910,954
収益事業費	123,380,188	190,299,816	△ 66,919,628
法人会計	37,287,591	32,479,118	4,808,473
経常費用計	882,999,620	973,107,048	△ 90,107,428
当期経常増減額	△ 23,214,802	5,930,570	△ 29,145,372
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
車両運搬具除却損	0	63,667	
経常外費用計	0	63,667	△ 63,667
当期経常外増減額	0	△ 63,667	63,667
税引前当期一般正味財産増減額	△ 23,214,802	5,866,903	△ 29,081,705
法人税、住民税及び事業税	71,000	3,311,900	△ 3,240,900
当期一般正味財産増減額	△ 23,285,802	2,555,003	△ 25,840,805
一般正味財産期首残高	184,834,374	182,279,371	2,555,003
一般正味財産期末残高	161,548,572	184,834,374	△ 23,285,802
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	361,548,572	384,834,374	△ 23,285,802

4 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取補助金等	0	704,790,750	704,790,750	0	31,847,747	736,638,497
管理受託収入	0	703,266,350	703,266,350	0	31,847,747	735,114,097
受取国庫補助金	0	350,000	350,000	0	0	350,000
受取民間助成金	0	1,174,400	1,174,400	0	0	1,174,400
事業収益	0	0	0	119,861,327	0	119,861,327
館内販売事業収入	0	0	0	113,520,476	0	113,520,476
自動販売機収入等	0	0	0	6,340,851	0	6,340,851
雑収益	87,014	2,547,304	2,634,318	650,676	0	3,284,994
雑収入	87,014	2,547,304	2,634,318	650,676	0	3,284,994
経常収益計	87,014	707,338,054	707,425,068	120,512,003	31,847,747	859,784,818
(2) 経常費用						
事業費	1,674,300	720,657,541	722,331,841	123,380,188	0	845,712,029
役員報酬	0	3,320,929	3,320,929	552,310	0	3,873,239
報酬	0	41,234,411	41,234,411	21,686,292	0	62,920,703
給料	0	87,294,600	87,294,600	4,326,600	0	91,621,200
職員手当	0	62,907,742	62,907,742	2,385,259	0	65,293,001
臨時職員賃金	0	35,246,705	35,246,705	3,153,065	0	38,399,770
退職給付費用	0	10,160,000	10,160,000	107,760	0	10,267,760
福利厚生費	0	37,407,809	37,407,809	4,702,081	0	42,109,890
会議費	0	60,360	60,360	20,700	0	81,060
旅費交通費	4,800	1,183,240	1,188,040	157,500	0	1,345,540
通信運搬費	142,680	1,545,564	1,688,244	161,320	0	1,849,564
減価償却費	0	133,222	133,222	1,887,768	0	2,020,990
消耗什器備品費	0	11,618,051	11,618,051	68,156	0	11,686,207
消耗品費	0	34,793,449	34,793,449	3,677,209	0	38,470,658
水族購入費	0	1,971,843	1,971,843	0	0	1,971,843
飼料購入費	0	15,933,787	15,933,787	0	0	15,933,787
修繕費	0	36,471,692	36,471,692	75,900	0	36,547,592
印刷製本費	403,920	1,929,840	2,333,760	0	0	2,333,760
燃料費	0	24,967,678	24,967,678	0	0	24,967,678
光熱水料費	0	99,481,924	99,481,924	482,446	0	99,964,370
賃借料	1,089,000	4,651,222	5,740,222	1,600,460	0	7,340,682
保険料	24,560	356,676	381,236	0	0	381,236
諸謝金	0	258,000	258,000	0	0	258,000
手数料	9,340	3,764,818	3,774,158	357,084	0	4,131,242
広報宣伝費	0	7,862,991	7,862,991	0	0	7,862,991
租税公課	0	28,540,450	28,540,450	3,440,300	0	31,980,750
負担金	0	75,000	75,000	0	0	75,000
寄付金	0	200,000	200,000	0	0	200,000
委託費	0	167,162,886	167,162,886	871,650	0	168,034,536
館内販売仕入費	0	0	0	73,665,828	0	73,665,828
雑費	0	122,652	122,652	500	0	123,152

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
管理費	0	0	0	0	37,287,591	37,287,591
役員報酬	0	0	0	0	491,635	491,635
報酬	0	0	0	0	217,896	217,896
給料	0	0	0	0	14,661,300	14,661,300
職員手当	0	0	0	0	10,935,482	10,935,482
臨時職員賃金	0	0	0	0	1,863,036	1,863,036
福利厚生費	0	0	0	0	4,541,702	4,541,702
会議費	0	0	0	0	418,064	418,064
交際費	0	0	0	0	5,000	5,000
通信運搬費	0	0	0	0	865,211	865,211
消耗品費	0	0	0	0	177,912	177,912
修繕費	0	0	0	0	285,175	285,175
印刷製本費	0	0	0	0	1,188,875	1,188,875
賃借料	0	0	0	0	686,920	686,920
保険料	0	0	0	0	87,060	87,060
手数料	0	0	0	0	192,927	192,927
租税公課	0	0	0	0	56,396	56,396
負担金	0	0	0	0	613,000	613,000
経常費用計	1,674,300	720,657,541	722,331,841	123,380,188	37,287,591	882,999,620
当期経常増減額	△ 1,587,286	△ 13,319,487	△ 14,906,773	△ 2,868,185	△ 5,439,844	△ 23,214,802
2.経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	△ 5,439,844	5,439,844	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,587,286	△ 13,319,487	△ 14,906,773	△ 8,308,029	0	△ 23,214,802
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	71,000	0	71,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,587,286	△ 13,319,487	△ 14,906,773	△ 8,379,029	0	△ 23,285,802
一般正味財産期首残高	14,088,730	18,691,832	32,780,562	151,903,844	149,968	184,834,374
一般正味財産期末残高	12,501,444	5,372,345	17,873,789	143,524,815	149,968	161,548,572
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	212,501,444	5,372,345	217,873,789	143,524,815	149,968	361,548,572

5 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1)棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品は、移動平均法によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (3)退職給付引当金の計上基準
期末退職給与の要支給額を限度として計上している。
- (4)消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	168,618,798	10,267,760	0	178,886,558
減価償却引当普通預金	6,002,474	2,020,990	0	8,023,464
特定費用準備普通預金	5,643,000	0	5,643,000	0
小 計	180,264,272	12,288,750	5,643,000	186,910,022
合 計	380,264,272	12,288,750	5,643,000	386,910,022

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	200,000,000	200,000,000	0	0
小 計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当普通預金	178,886,558	0	0	178,886,558
減価償却引当普通預金	8,023,464	0	8,023,464	0
小 計	186,910,022	0	8,023,464	178,886,558
合 計	386,910,022	200,000,000	8,023,464	178,886,558

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,598,670	133,222	133,222	1,465,448
什器備品	15,357,730	1,887,768	7,890,242	7,467,488
合 計	16,956,400	2,020,990	8,023,464	8,932,936

6 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、5 財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	168,618,798	10,267,760	0	0	178,886,558

7 財産目録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金等として	13,871,773
	普通預金	南日本銀行本店	運転資金等として	241,785,768
	未収金	信販等4社	クレジット・代引売掛商品代金等	1,722,519
		カ・コーボトラーズジャパン	販売手数料・光熱水費	615,882
		携帯電話4社	館内設置通信機器電気代	255,274
		DNPフォトイメージング	記念写真BOX利用料・電気代	20,163
		三井住友海上火災	レクリエーション保険還付金	17,892
	商品	売店	文房具、書籍など	406,694
	貯蔵品	売店	包装用品	1,524,306
流動資産合計				260,220,271
(固定資産)				
基本財産	普通預金	南日本銀行本店	公益目的保有財産	200,000,000
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 南日本銀行本店	公社員28名に対する退職金の支払に備えたもの	178,886,558
	減価償却引当資産	普通預金 南日本銀行本店	収益事業の用に供している什器備品の償却引当資産	8,023,464
その他 固定資産	車両運搬具	小型貨物車1台	公益目的保有財産 水族収集等の用に供している	1,465,448
	什器備品	大型金庫1台	収益事業の用に供している	8,633
		店内構造物	同上	5,808,069
		POSシステム	同上	1,531,800
		バーコードプリンタ	同上	118,984
		I P トランシーバ	同上	1
		両替機	同上	1
	電話加入権	2回線分	管理部門の用に供している	149,968
		1回線分	収益事業の用に供している	76,440
	預託金	1台分	自動車リサイクル料金	9,550
固定資産合計				396,078,916
資産合計				656,299,187

(単位：円)

貸借対照表科目		債務の相手等	債務の内容等	金額
(流動負債)	未払金	A Q U A他27社 明電エンジニアリング 芙蓉商事 日立プラントサービス 日本電設工業 鶴田機工 親和電機 ベストセキュリティ ゼニヤ海洋サービス 田中三次郎商店 ハダ工芸社 美館イメージング サツマ酸素工業 NEXCO西日本コミュニケーションズ 三菱電機ビルテクノサービス 山形屋 パナソニックシステムソリューションズジャパン 前野石油 九州電力 日本ガス 鹿児島市水道局 他92社 当公社従業員 厚生労働省年金局 各税務機関 鹿児島市	ショップ商品仕入代金 自家発電設備保全管理業務等 設備運転管理・清掃業務等 熱源空調設備保守点検業務 電気設備保守点検業務 飼育ポンプ等修繕業務等 消防設備点検業務等 常駐・臨時警備業務 水路用浮棧橋 紫外線流水殺菌装置等 避難階段手摺設置業務等 実体顕微鏡照明セット等 水槽架台取替等 高速SA広告掲載料 本館昇降機保守点検等 嘱託員制服等 大型映像装置設備保守点検業務 発電機燃料代3月分 電気料金3月分 ガス料金3月分 上下水道料金2-3月分 各種商品・サービス、委託・修繕等 報酬・手当等3月分 社会保険料3月分 決算時諸税 かごしま水族館管理等業務委託料精算額	11,698,578 8,244,720 6,600,000 5,720,000 3,630,000 2,488,200 1,873,300 1,678,600 1,552,760 1,468,720 1,406,757 1,342,330 1,207,998 1,075,635 1,064,250 1,045,385 1,045,000 2,613,600 5,339,927 1,751,139 2,205,884 13,992,474 6,421,026 2,848,244 7,693,300 15,713,811
	預り金	社会保険料 所得税・住民税		2,848,959 1,293,460
流動負債合計				115,864,057
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公社員30名に対する退職金の支払に備えたもの	178,886,558
固定負債合計				178,886,558
負債合計				294,750,615
正味財産				361,548,572

監 査 報 告 書

令和3年5月26日

公益財団法人鹿児島市水族館公社

理事長 下鶴 隆央 殿

公益財団法人鹿児島市水族館公社

監 事 高橋 雷太



監 事 穂原 豊久



私たち監事は、公益財団法人鹿児島市水族館公社の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第9期事業年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関連する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以 上